

巻頭言

日本医療バランスト・スコアカード研究学会
会長 高橋 淑郎

熊本地震で大きな被害を受けた方々に心からお見舞い申し上げます。

去る4月16日突然大規模な発生以来続く地震により、熊本県のみならず大分県にわたり甚大な被害をもたらしていますが、会員の皆様の状況はいかがでしょうか。地域の病院はじめ医療・介護施設は被災されたばかりでなく、住民の救急治療やその後の救護にもあたられ連日激務にあたられていることと存じます。お見舞い申し上げますと同時に一日も早い復旧と復興をお祈り致します。（2016年5月5日記）

日本医療バランスト・スコアカード研究学会第7期の会長を仰せつかりました日本大学の高橋淑郎です。今期もよろしくお願ひ申し上げます。

医療BSCは、ヘルスケア領域でかなり当たり前の経営ツールとして浸透してきているという見方もあります。一方で、実行段階で躊躇されている病院や運営が上手くいっていない病院もあるようにみられます。その原因の一つに、前号のニューズレターの巻頭言に専修大学の伊藤和憲先生が書かれていた「BSCもどき」があります。この「BSCもどき」に関しては、伊藤先生が書かれていたように危機感をもって考えるべき重要な問題だと思ひます。

これと同様の議論で、本学会のワークショップ等で良く耳にするのが「なんちゃってBSC」もあります。この表現も同じような意味合いで使用されています。このように病院の現場では、「BSCもどき」に類似したことが実感されているのですが、なかなか修正ができないという現実があると思ひます。そこでその「もどき」を乗り越えることで、本来のBSCの運用に近づくことができます。しかし、この「もどき」を感じられるのは、本学会のワークショップや本学会が支援した病院あるいは組織力の高い病院に限られることが多く、書籍や病院内で独自に考えて導入してきた病院では、その「もどき」を感じられない病院が全国には存在します。是非、会員を増強し、仲間を増やし、「BSCもどき」を減らしていきたいと思ひています。尚、この「BSCもどき」に関しては、以前、本学会誌に台湾HBSC学会参加記として、台湾での議論が書かれています。

さて「BSCもどき」を考える時に、もう一つの「もどき」を考える必要があります。それはBSCの導入時に戦略実行のBSCといっても、その前提の議論として、経営戦略論としてBSCを正面から考えることです。BSCを経営戦略論として捉えた時に、そこには「戦略もどき」も存在します。目標やビジョンを戦略と思い込んではいけません。例えば、ナンバーワン・ホスピタルといったことは、ビジョンの一部であり、戦略ではありません。BSCを戦略として捉えた時に必要なのは、その内容であって、それが戦略になっていくのです。すなわち、「戦略は何をすべきか」を明らかにし、「何をしないか」をも明らかにするものであり、選択して、資源をメリハリをつけて投入すること（決して選択と集中ではありません）が重要です。この考え方を経営学では「適合パラダイム」と言いますが、加えて、現代は、イノベーションを基礎とした「創造パラダイム」を考えるべき時代となってきました。そして、総花的なものは、決して戦略とは言えません。

つまり、病院の経営陣の「取り組みたい施策ありき」で立案される「戦略もどき」は、結果的に実効性がないものとなりやすいのです。そして、戦略実効性は、病院の身の丈を知った上での組織の中核能力と職員の合意から生まれます。

この点をしっかり肝に銘じながら、第7期で、よりBSCが会員の皆様や社会の皆様に役立つように進めていく所存です。

さて、今期は、学術総会として10月15日（土）に、第14回学術総会を日本大学医学部教授根東義明教授にお願いしています。今回初めて、情報化時代というキーワードでHBSCに迫ります。特に、医療情報は、戦略マップの中でも学習と成長の視点にある、組織資本、人的資本と情報資本というように、重要な意味合いをも含んでいます。多くの会員の皆様のご参加期待しております。

次に、年度末の3月18日（土）には、若干気が早いのですが、設立15周年記念の国際シンポジウムを開催します。海外から、その領域でトップを走る研究や実務家を招聘してのシンポジウムです。同時にこのシンポジウムは、初めての試みとして、前日の3月17日（金）に行われる、日本大学での「持続可能な病院経営」というテーマで、比較的理論的な議論をするワークショップと連携し、18日の私どものシンポジウムでは、持続可能な病院経営にBSCがいかに貢献できるか、さらにはSustainable Healthcare BSCの可能性までを議論します。両日ともにご参加いただくと、持続可能なHBSCの理論と実践がご理解いただけるものと考えています。是非とも、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また、学会のホームページにも公開されていますように、第7期は、以下のような理事の陣容で学会を運営してまいります。

役員皆で総力をあげて、より良い学会運営を目指してまいります。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

高橋 淑郎	会 長	日本大学 商学部 教授
大道 久		日本大学 名誉教授
高橋 昌里		日本大学 医学部 教授
井部 俊子		聖路加国際大学 教授
渡辺 明良		聖路加国際大学 法人事務局長
中野 種樹	企画・研修委員会 担当	一般財団法人長岡記念財団 理事長
塩田 龍海	会計担当	あさがお経営研究所 所長・公認会計士
仲田 清剛		社会医療法人敬愛会 ちばなクリニック 院長
登谷 大修		社会福祉法人恩賜財団福井県済生会病院 院長
横田 英介		松山赤十字病院 院長
清水 孝	新評議員審査委員会担当	早稲田大学大学院 会計研究科 教授
伊藤 和憲	研究委員会担当	専修大学 商学部 教授
佐藤 貴一郎	学会誌編集委員会担当	日本大学 商学部 非常勤講師 (前国際医療福祉大学 教授)
深澤 優子	事務局長・企画研修委員会担当	R&Dナーシングヘルスケア・マネジメント研究所 代表
赤瀬 朋秀	広報委員会・日本学術会議担当	日本経済大学大学院 教授
須藤 秀一	試験問題・試験運営 委員会担当	医療法人財団献心会 川越胃腸病院 常務理事

監 事		
伊藤 博		弁護士法人フェニックス 代表社員 弁護士
中村 彰吾		公益社団法人 医療・病院管理研究協会

役員皆で総力をあげて、より良い学会運営を目指してまいります。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

「第10回医療BSC学会認定指導者認定審査試験」実施要領

- 日程 **平成28年 7月23日(土曜日) 9:00～15:30**
- 会場 日本大学商学部 本館 1階 11会議室 世田谷区砧 5-2-1
- 内容 医療BSC学会認定指導者実技試験・筆記試験
- 定員 2名(予定)
- 申込手続 別紙2認定審査試験申込書に記入・写真貼付の上、学会宛にご送付ください。(応募は郵送・宅配メールに限る)
- 注意事項 経歴資格の宣誓をしない方は、証明書類を同封のこと
- 申込料金 20,000円 (内訳 審査料5,000円 審査運営費15,000円)
- 申込期限 **平成27年7月15日(金)学会必着**
(応募は郵送・宅配メールに限る)



お申し込み・お問い合わせ先

- 送付先 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンターⅢ
日本医療バランス・スコアカード研究学会 事務局試験係
- 申込料金振込先口座 三菱東京UFJ銀行 築地支店 (店番 025)
普通 1095573 日本医療バランス・スコアカード研究学会 会長 高橋淑郎
- TEL 03-5389-3027
- E-mail entry@hbsc.jp
- Webサイト <http://hbsc.jp/index.html>

【7月23日(土) タイムスケジュール】

時間	内容	詳細
9:05～9:10	受付	9時以前に入室出来ません。
9:10～9:15	説明	スケジュール・会場説明、試験内容の注意事項
9:15～10:05	筆記試験	筆記試験(理論)
10:05～10:10	休憩	
10:10～15:30	実技試験	SWOT分析、クロス分析、戦略テーマ、戦略マップ、スコアカードの作成をファシリテートする試験及びファシリテーターとしてのコメント作成
(11:45～12:30)	昼食休憩	(昼食の準備はありません)

※スケジュールは都合により変更する場合がございます。予めご了承ください。

試験に関するFAQ

- 質問1 受験票は送付されますか？
受験票は発行致しませんので、そのままご来場下さい。
- 質問2 遅刻した場合、受験できますか？
会場への入室が筆記試験開始後20分を経過した場合には、受験を認めません。
- 質問3 止むを得ない理由で、受験できなかった場合は返金してもらえますか？
申込後はいかなる理由によっても返金には応じかねます。
- 質問4 当日持参するものはありますか？
鉛筆、消しゴム、等の筆記関係文具を持参下さい。時計も持参が望ましいと思います。
- 質問5 申込料金は事前支払ですか？
申込期限までにお振込下さい。(但し、止むを得ない場合、試験当日に払込済証書の持参も可ですが、如何なる場合も試験日1週間前までに入金がなければ、受験は一切認められません。)

日本医療バランスト・スコアカード研究学会

BSC1日マスターコース

BSC基礎講座 & フォーラム

—BSCの基礎から最新理論、そして、導入と運用のためのコツとポイント—

■ 日程

平成28年9月3日(土曜日) 9:30~16:30

■ 会場

日本経済大学大学院 渋谷キャンパス 246ホール
東京都渋谷区桜丘町24-5 渋谷駅南改札西口より徒歩3分

■ 内容

【午前の部(BSC基礎講座)】

①午前中は、BSCの基礎から最新理論までをしっかりと学びます。初心者だけでなく、少しずつ変化(進化)しているBSCの最新理論まで幅広い方に役立つ内容です。「正しいBSC」を理解できます。

【午後の部(BSCフォーラム)】

②午後は、病院全体と診療部・看護部・薬剤部などの各部門が実際にどのようにBSCを活用しているのか、診療部や医師はどのように経営参画しているのか、職員はどのように戦略共有しているのかなど、導入と運用のためのコツとポイントを実践の中からお話をいただきます。



■ 講師

【午前の部】

清水孝先生(早稲田大学教授) —2016年度BSC基礎から最新理論まで

【午後の部】

齋藤雅也先生(医療法人香徳会関中央病院院長) —病院経営へのBSC導入と運用の実践事例

齊藤由利子先生(上都賀総合病院副院長・看護部長) —看護部のBSC導入と運用の実践事例

赤瀬朋秀先生(日本経済大学大学院教授・神奈川県病院薬剤師会) —薬剤部のBSC導入と運用の実践事例

■ 定員

60名(予定)

■ 申込料金

日本医療BSC学会 会員 8,000円(税込) 午前のみ・午後のみの場合5,000円

日本医療BSC学会非会員 20,000円(税込) 午前のみ・午後のみの場合12,000円

■ 申込手続

別紙の申込書へ必要事項を記入し、メールにて送信をお願いします。

■ 申込期限

平成28年8月26日(金)

(定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください)

お申し込み・お問い合わせ先

● 申込みについて

1 下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、entry@hbsc.jpまでお送りください。

2 参加料は、開催日の1週間前までにお振込下さい。なお、領収書の発行は「振込受領書」を持って領収書に代えさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

3 お申し込み後のキャンセルの場合は、申込期限まで可能です。

● 申込料金振込先口座

三菱東京UFJ銀行 築地支店 (店番 025) 普通 1095573

日本医療バランスト・スコアカード研究学会 会長 高橋 淑郎

● 問合せ先

03-5389-3027 (平日: 9:00~12:00 13:00~17:00)

● 送付先アドレス

entry@hbsc.jp

※学会事務局宛電子メール(「entry@hbsc.jp」)にて問い合わせの場合、ご返答まで若干のお時間を頂く場合がございます。申し訳ありませんが、ご了承下さい。

必要事項をご記入の上、entry@hbsc.jpのメールアドレスに添付し送信してください。

フリガナ
病院・会社名

病院・会社所在地

〒

住所

TEL :

FAX :

e-mail(代表者の方) :

フリガナ

受講者名

部署名

役職名

区分 (個人正会員(会員番号) ・ 賛助会員 ・ 非会員)

※いずれかに○をつけてください ①1日参加 ②午前のみ参加 ③午後のみ参加



日本医療バランスト・スコアカード研究学会
第14回学術総会 <http://www.hbsc2016.org>

情報化時代に新たなHBSCの展開をめざして

特別講演

『この国のゆくえ』
猪瀬 直樹 氏
(作家・前東京都知事)



シンポジウム

「情報化社会における医療経営に期待するもの」
白髪 昌世 (広島国際大学医療福祉学部 教授)
伏見 清秀 (東京医科歯科大学 教授)
高橋 淑郎 (日本大学商学部 教授)

会期 平成28年10月15日(土)9:30~19:00

会場 東京国際交流館プラザ平成

総会長 根東 義明 (日本大学医学部 教授)

学術総会事務局 日本大学医学部 社会医学系医療管理学分野
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
TEL:03-3972-8111 FAX:03-5964-7036
E-mail:secretariat@hbsc2016.org

第14回学術総会開催のお知らせ

第14回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会
会長 根東 義明 (日本大学医学部医療管理学分野)

既に学術総会事務局からのメールでもお知らせ申し上げましたが、第14回学術総会事務局は、今年度の学術総会を来る**10月15日(土)**に**プラザ平成**にて開催することを決定いたし、準備を開始いたしました。今回の学術総会は、「**情報化時代に新たなHBSCの展開をめざして**」をテーマとして、急速に情報化が進む現代社会において、医療の情報化とHBSCはどのような関係性をもって発展してゆくべきかについて、様々な角度から会員の皆様にご研究をいただく場とさせていただきたいと願っております。

このような立場から、作家・前東京都知事の猪瀬直樹氏に『この国のゆくえ』と題する特別講演をいただく他、シンポジウムには広島国際大学白髪昌世先生、東京医科歯科大学伏見清秀先生をお迎えし、高橋淑郎学会長とともに「情報化社会における医療経営に期待するもの」と題するシンポジウムを開催いたします。会員の皆様からは、多くの演題発表を期待しております。

学術総会のためのホームページも設置いたしましたので、演題募集・寄付・広告・共催セミナー等の募集について、詳しくは下記の学術総会ホームページ

日本医療バランスト・スコアカード研究学会第14回学術総会

<http://www.hbsc2016.org>

をご参照いただきたいと思います。学術総会への参加申込みと一般演題への発表募集に係わる主な日程は以下のとおりです。

【参加申込み】

- ・事前申込み受付期間は、2016年9月20日(火)の振込まで
- ・学術総会ホームページの「参加申し込み」のページから「参加申込書」をダウンロードして、ご記入のうえお申し込み下さい。

【一般演題発表募集】

- ・締切日 平成28年7月24日(日)
※発表形式(口演発表・ポスター発表)の最終決定はプログラム編成の都合上、大会側にて行いますので、ご了承ください。
- ・演題の採否につきましては平成28年8月中旬に、電子メールにてお知らせいたします。

多くの会員の皆様のご参加・ご発表を心よりお待ちしております。

尚、日程等につきましては、今後、変更される可能性もありますので、最新情報は学術総会ホームページでご確認くださいようお願い申し上げます。

第13回学術総会開催のご報告

本学会の第13回学術総会が、滋慶医療科学大学院大学の河口豊教授を学術総会長として、平成27年11月14日（土）に大阪国際会議場（グランキューブ大阪）10階で開催されました。

今回は「地域生活を支える病院～HBSCによって広がる活動～」をメインテーマとして、メイン会場では招待講演および一般講演Aセッション（5演題）が行われたのをはじめ、さらに一般講演用に2会場（Bセッション（6演題）、Cセッション（5演題））、ポスターセッション1会場（10演題+医療福祉建築賞受賞企業の展示）で発表・報告が行われました。

また、昼食時には恒例のランチョンセミナーが3セッション開催され、活発な議論がかわされました。

第13回HBSC学術総会 メイン会場プログラム

時 間	演 題	講 師
8:30～	受 付	
9:20～9:50	・開会挨拶・学術総会会長講演 HBSCと利用者参加	滋慶医療科学大学院大学教授 河口 豊
9:55～10:45	・会長講演 BSCへの批判を客観的に検討する	日本大学商学部教授 日本HBSC研究学会会長 高橋 淑郎
10:50～11:40	・教育講演 安定した病院運営の実践 －地域病院ブランディング化を目指して－	足利赤十字病院事務部長 鷺見 圭司
11:50～12:50	・ランチョンセミナー1	
13:00～13:40	・会員総会	
13:45～15:10	・鼎談：地域包括ケアにつなげる施設マネジメント 医療の変革期にあってBSCに期待されるもの 地域包括ケアの課題とBSC的考察 地方独立行政法人病院の改革	日本大学名誉教授 日本医療経営学会理事長 大道 久 こうほうえん副理事長 廣江 晃 明石市立市民病院理事長 藤本 荘太郎
15:20～16:35	・一般講演A（5題）	
17:00～17:10	・次期学術総会会長挨拶	日本大学医学部教授 根東 義明
17:10～18:10	・特別講演 利用者本位の地域包括ケアを目指して	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 灰谷 茂

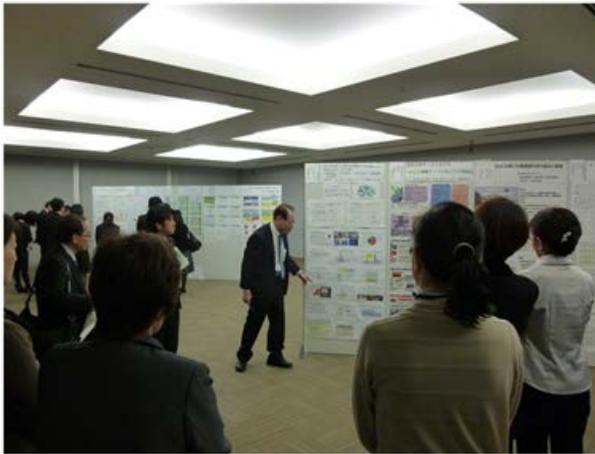
今回の学術総会の特徴のひとつとして、総会前日の夕刻に、「プレカンファレンス」として、新大阪駅前の滋慶医療科学大学院大学のキャンパスで、武田裕学長から「医療安全と情報」と題する講演が開催されたことも特筆すべき点でしょう。



メイン会場



一般講演会場



ポスターセッション



情報交換会場における優秀演題表彰



学術総会前夜のプレカンファレンス

学術総会後には、同会場5階の「まいどおおきに」に階を移して、情報交換会・懇親会が開催され、会員相互間のコミュニケーションの場とするとともに、優秀演題の表彰が行われ、最後に、次回（第14回）の学術総会での再会を期して閉会となりました。